



(写真) ベネズエラ情報通信省 “3月13日 コロンビア閣僚がベネズエラ訪問、暫定政権幹部と協議実施”

2026年3月13日（金曜）

政治

- 「[コロンビア 大統領会談延期も複数の発表](#)
～Mercosur 共同加盟申請、関税ゼロ提案など～」
- 「[暫定政権 ドイツとエネルギー関連の協力協議](#)」
- 「[在コロンビア・ベネズエラ大使が交代](#)」

経済

- 「[OFAC 制裁ライセンス No.46、48、49 を更新](#)
～石油化学製品・電力分野の取引を許可～」
- 「[Eni、Repsol 天然ガス事業で前進の期待高まる](#)」
- 「[スーパーマーケット 店舗内の輸入品は10%](#)」
- 「[ヌエバエスパルタ州 チリへ海藻162トン輸出](#)」

26年3月14-15日（土・日）

政治

- 「[在ベネ米国大使館 7年ぶりに米国旗を掲揚](#)
～近いうちに在米ベネ大使館も国旗を掲揚～」
- 「[燃料オイル販売で社会保護基金から3億ドル](#)」

経済

- 「[PDVSA Ecopetol との契約停止を希望](#)」
- 「[PDVSA コロンビアへ液化石油ガスを輸出](#)」
- 「[Eni FLNG（浮体式液化）によるガス輸出検討](#)」

社会

- 「[Rinconada 駅で事故 少なくとも10名負傷](#)」
- 「[野球 WBC ベネズエラ、日本を下し準決勝へ](#)」

2026年3月13日（金曜）

政治

「コロンビア 大統領会談延期も複数の発表
～Mercosur 共同加盟申請、関税ゼロ提案など～」

3月13日に予定されていたコロンビアのペトロ大統領とベネズエラのロドリゲス暫定大統領との会合は「不可抗力の理由」により延期になった（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1343](#)」）。

しかし、3月13日にコロンビアから Rosa Villavicencio 外相、Pedro Arnulfo Sanchez 防衛相らがカラカスを訪問。ロドリゲス暫定政権関係者と協議を行い、13日～15日にかけてコロンビアとベネズエラに関連する複数の発表がされた。

（1）両国共通の問題に関する4つの作業部会設置

コロンビア閣僚および暫定政権関係者との会合により両国は、実務的な協力枠組みを目的とした以下4つの作業部会を設置したと報じられている。

- ・ 外交関係
- ・ 安全保障・国防
- ・ 商業・観光
- ・ エネルギー・石油

また、両国国境の監視強化についても検討するという。

（2）Mercosur の共同加盟申請

3月14日 コロンビアのペトロ大統領は、コロンビアとベネズエラの両国は「Mercosur（南米南部共同体）」への正式加盟を共同で申請することを検討していると発表した。

実はベネズエラは2012年に Mercosur へ正式加盟していた。しかし、2017年に民主主義条項（別名ウシュアニア・プロトコール）に違反したとの理由でメルコスール加盟権を停止され、現在に至っている。

コロンビアは2004年に準加盟国になっているが、正式加盟国にはなっていない。

（3）コロンビアからの双方関税ゼロ提案を辞退

3月14日 ロドリゲス暫定大統領は、ペトロ大統領から双方の関税をゼロにするという提案を受けたと発表。この提案に対して、ロドリゲス暫定大統領は「それを望んでいるが、実行は出来ない」と回答したことを明らかにした。

ロドリゲス暫定大統領は、ペトロ大統領の提案を断った理由について

「現時点で実行することはできない」
「なぜなら我が国は制裁が科せられており、同等の条件になり得ないからだ」「均衡の取れた条件にならない限り、この話を前進させることはできない」
「提案をしてくれたペトロ大統領に感謝する」「しかし、現時点でこの申し出を受け入れることはできない」とコメントした。

「暫定政権 ドイツとエネルギー関連の協力協議」

ベネズエラ外務省の Oliver Blanco 欧米担当次官（野党政治家）は、在ベネズエラ・ドイツ大使館の Volker Pellet 大使と面談。

エネルギー、文化、観光分野での協力強化について意見交換を行った。

Blanco 欧米担当次官によると、ドイツはベネズエラの経済特区への参入に関心があるという。「ドイツは経済特区への投資により、ベネズエラの国内製造業の多角化に貢献することを希望している」と説明した。

ドイツは原油・天然ガスなど資源事業についてベネズエラとの直接的な関係は少ないが、電力部門については強く関与している。エネルギーに関する協議とは、実質的に電力関連の協議と認識される。



(写真) @OliverBlanco

「在コロンビア・ベネズエラ大使が交代」

3月13日 ロドリゲス暫定政権は、Orlando Maniglia 氏を新たな在コロンビア・ベネズエラ大使に任命した。



(写真) Al Navio

Orlando Maniglia 新大使は軍人で、2005年～06年のチャベス政権下で防衛相を務めたことのある人物。在ドイツ・ベネズエラ大使だったこともある。

経 済

「OFAC 制裁ライセンス No.46、48、49 を更新 ～石油化学製品・電力分野の取引を許可～」

3月13日 米国の「外国資産管理局 (OFAC)」は制裁ライセンス (GL) No.46、48、49 を修正し、それぞれ GL46B、GL48A、GL49A を発行した。

今回の改定の最大の特徴は、対象分野が従来の石油・天然ガスに加えて、石油化学・電力の分野へも拡張されたことである。

GL46B では、輸送・販売が許可される対象として、これまでの原油・石油製品に加えて、石油化学製品が追加された。

旧 GL48 では、「石油・ガスの探査・開発・生産に必要な物資・サービスの提供」を許可していたが、新 GL48A では新たに石油化学、電力部門に必要な物資・サービスの提供も許可された。

また、GL49A では、新規投資の対象が石油・天然ガスに加えて石油化学および電力部門に拡大された。

3つの制裁ライセンス修正により、石油化学製品に関する取引・投資準備などが許可されたが、これらの制裁ライセンスでは具体的に許可の対象となる石油化学品を HS コードにて示している。

以下、GL46B、GL48A、GL49A に掲載されている HS コードを紹介する (GL46B、GL48A、GL49A 全て同じ HS コード)。

Chemical name	HS code
Sulfur	2503000010
Sulfur	2503000090
Phosphate Rock	2510100000
Phosphate Rock	2510200000
Sulfuric Acid	2807000000
Phosphoric Acid, fertilizer-grade, containing less than 65 percent available	2809200010
Phosphoric Acid, other	2809200020
Anhydrous Ammonia	2814100000
Aqua Ammonia	2814200000
Potassium Nitrate	2834210000
Calcium Nitrate	2834291000
Potassium Phosphate	2835240000
Dicalcium Phosphates	2835250000
Other Phosphates of Calcium	2835260000
Urea (Solid)	3102100000
Urea (Solid)	3102100010
Diesel Exhaust Fluid	3102100030
Other Urea	3102100050
Ammonium Sulfate	3102210000
Other Nitrogen Fert	3102290000
Ammonium Nitrate	3102300000
Ammonia Nitrate	3102400000

Sodium Nitrate	3102500000
Other Nitrogen Fert	3102600000
Mixtures of urea and ammonium nitrate in aqueous or ammoniacal solution	3102800000
Other Nitrogen Fert	3102900100
Concentrated Super	3103110000
Normal Super	3103190000
Other Phosphate Fert	3103900100
Potassium Muriate	3104200000
Potassium Muriate <= 62% Oxide	3104200010
Potassium Muriate >62% Oxide	3104200050
Potassium Sulfate	3104300000
Other Potassium Fert	3104900100
Chemical Mixtures	3105100000
Chemical Mixtures	3105200000
Diammonium Phosphate	3105300000
Monoammonium Phosphate & Other	3105400000
Monoammonium Phosphate & Other	3105400010
Monoammonium Phosphate & Other	3105400050
Chemical Mixtures	3105510000
Chemical Mixtures	3105590000
Chemical Mixtures	3105600000
Potassium Sodium Nitrate	3105900010
Other Mixtures	3105900050

「Eni、Repsol 天然ガス事業で前進の期待高まる」

「ベネズエラ・ガス生産者連合(AVPG)」の Luis Terrero 代表は、EFE 通信の取材に応じ、Repsol、Eni がベネズエラで操業している Perla ガス田について言及した。

Terrero 代表によると、Perla ガス田はラテンアメリカでも最大級の海上ガス田の一つだという。

現在、Perla ガス田の天然ガス生産量は日量5億8500万立方フィート。これは同ガス田の潜在能力の48.7%に相当すると説明した。

また、先日 Repsol と Eni がガス関連で暫定政権と合意したことを受けて、同ガス田の産出量が最大水準に達するとの見通しを示した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1343](#)」)

ただし、Terrero 代表は、「交渉の詳細がまだ明らかになっていないため、生産量を最大水準まで引き上げるのにどれほどの時間がかかるかを現時点で算出することは難しい」と補足した。

Terrero 代表によると、現在 Perla ガス田で生産されている天然ガスは、PDVSA によってスリア州の国内市場に供給されているという。

ただし、Repsol と Eni は「常にこのガスを輸出する意向を持ってきた」と説明。

Repsol と Eni は同ガス田からガスを輸出する可能性を探っていると述べた。

(写真) OFAC “制裁ライセンス No.46b”

「スーパーマーケット 店舗内の輸入品は10%」

「全国スーパーマーケット連合会（ANSA）」の Italo Atencio 代表は、現在のベネズエラのスーパーマーケットの棚には外国産の製品はかなり少なくなっているとコメントした。

Atencio 代表によると、商品棚の90%は国内産であり、輸入品は10%程度だという。

また、2017年、18年当時は深刻な問題になっていた食品不足・品不足の問題についても、現在は完全に解消していると説明。現在の商品充足指数は98%と述べた。なお、品不足が深刻だった時期は、同指数は20～30%だったという。

また、商品バリエーションも豊富で、現在は1つの商品について14種以上のブランドがあり、市場競争が機能しているとの見解を示した。

他、スーパーマーケットの新規オープン数については、2025年は全国で66の店舗がオープンしたと説明。

現時点で2026年は40超のスーパーマーケットの開業が予定されていると述べた。

「ヌエバエスパルタ州 チリへ海藻162トン輸出」

ヌエバエスパルタ州の Samir Al Attrach 経済特区長は、同州からチリに向けて162トンの海藻を輸出すると発表した。

Attrach 経済特区長によると、海藻は6つのコンテナで輸出されるという。

Attrach 経済特区長は、今回の輸出について公的セクターと民間企業による努力の結果と説明。チリ以外にも新たな販路が開ける可能性があるとの期待を示した。

2026年3月14日～15日（土曜・日曜）

政治

「在ベネ米国大使館 7年ぶりに米国旗を掲揚 ～近いうちに在米ベネ大使館も国旗を掲揚～」

3月14日 在ベネズエラ米国大使館に米国旗が掲揚された（下写真は、Dogu 臨時大使が米国旗を掲揚する様子）。

米国の Laura Dogu 臨時大使によると、2019年3月14日に国旗を降ろしたようで、丁度7年後に国旗を再掲揚することになったという。

Dogu 臨時大使は「米国とベネズエラの新しい時代が始まる」「ベネズエラとともに前進する」とコメントした。

大使館の再開は政治的意味合いだけではなく、領事業務が再開することを意味し、両国の移民手続きがベネズエラ国内で可能になることを意味する。



（写真）在ベネズエラ米国大使館 Instagram

今回の米国旗掲揚を受けて、ロドリゲス暫定大統領は「極めて近いうちに米国にあるベネズエラ大使館も国旗を掲揚することになるだろう」とコメントした。

「燃料オイル販売で社会保護基金から3億ドル」

3月14日 ロドリゲス暫定大統領は、燃料オイルの販売により得た3億ドルが社会保護基金に着金したと発表。

この資金は社会保護や労働者の収入増加のために使用されると説明した。

1月15日 ロドリゲス暫定大統領は、国民生活の改善を目的に「労働者の収入改善を目的とする基金」と「病院・学校、公共サービス改善を目的とする基金」の2つの基金創設を提案していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1319」](#)）。

また、生活の改善には米国の経済制裁解除が不可欠であると主張。ベネズエラ国民が、制裁解除を求める必要があるとの見解を示した。

経 済

「PDVSA Ecopetol との契約停止を希望」

3月14日 コロンビアの Edwin Palma エネルギー鉱物相は、PDVSA がコロンビア石油会社 Ecopetol とのパイプライン契約を終了する方針を示したことを明らかにした。

ベネズエラとコロンビアの国境225キロをつなぐアントニオ・リカルテ・ガスパイプライン「el gasoducto Antonio Ricaurte」は、これまで両国が精力的に協議してきたベネズエラからコロンビアへのガス輸出において中心的な役割を果たす施設である。

しかし、同パイプラインは長年停止状態が続き、改修投資が進まなかったことが理由とされている。

PDVSA 側の狙いとしては、機能停止状態にある Ecopetol との契約を一度リセットし、新たな枠組みの契約を検討することにあるとされる。

「PDVSA コロンビアへ液化石油ガスを輸出」

ロドリゲス暫定大統領は、コロンビアとのエネルギー協力の一環として PDVSA がタンクローリーを用いてコロンビアへ液化石油ガス (LPG) の輸出を開始したと発表した。

なお、ロドリゲス暫定大統領の発言によると、今回の LPG 輸出は“寄贈”だという。

「ベネズエラからコロンビアへ LPG を輸出できたことを我々は心から喜んでいる」

「これは我々が善意を示す最初の行動であり、PDVSA による最初の寄贈は、両国の関係を再び開くための第一歩となるものと信じている」

とコメントした。

「Eni FLNG（浮体式液化）によるガス輸出検討」

Bloomberg は、イタリアのエネルギー会社「Eni」が浮体式液化 (FLNG) を含むベネズエラ産ガスの輸出オプションを検討していると報じた。

FLNG とは、海上のガス田の上に船舶やプラットフォームを設置し、海上で直接天然ガスを採取、処理、液化、貯蔵することが可能な海洋技術だという。

Eni は暫定政権との合意について声明で発表。

「必要な法的および規制上の承認を得た」

「天然ガスおよび液化天然ガスの輸出のための解決策を可能にする今回の合意に満足している」

「ベネズエラがガス輸出国としての地位を確立することにつながる」「これまで同社が世界各国で成功を取ってきた海上ガス液化プロジェクトの経験を踏まえて評価していく」

との見解を示した。

Eni と Repsol が合弁会社 Cardón IV を通じて処理しているガスは、巨大な海上ガス田「Perla ガス田」から産出されている。

しかし、欧州企業は、米国の経済制裁による取引制限を理由にここ数年は最低水準での生産を余儀なくされてきた。

制裁緩和と今回の合意により、これまで存在していたプロジェクト進行の障害が減る。

ペルラ・ガス田のガスは、将来的にはアントニオ・リカルテ・ガスパイプラインを通じてコロンビアへ輸出される可能性があるほか、海上で液化天然ガス (LNG) として処理される可能性もあるという。

社 会

「Rinconada 駅で事故 少なくとも10名負傷」

3月15日 カラカスのリンコナーダ駅で電車事故が発生した。

事故の原因について正式な発表はないが、カラカス消防局の Pablo Palacios 司令官は SNS で、「この事故は脱線事故であり、そのうちの1両が壁に衝突した」と投稿。約400人の予防的避難が行われたと説明した。

直近の報道によると、運転手含む少なくとも10人の負傷者が出たという。



(写真) Al Navio

「野球 WBC ベネズエラ、日本を下し準決勝へ」

日本時間3月15日 2026年のワールド・ベースボール・クラシック (WBC) の準々決勝において、日本対ベネズエラの試合が行われ、ベネズエラ代表が日本代表を8-5で破り、準決勝進出を決めた。

試合は、注目プレイヤーとされた日本の大谷翔平、ベネズエラのロナルド・アクーニャ Jr.がそれぞれホームランを放つ激しい打ち合いになった。

なお、同試合は米国マイアミで開催された。同地にはベネズエラ移民が多く住んでおり、実質的にベネズエラのホームコートでの試合という印象だったようだ。

ベネズエラの準決勝戦の相手はイタリア。

日本時間で明日17日に行われる。

既に米国が決勝進出を決めており、仮にベネズエラがイタリアに勝利した場合、米国対ベネズエラという興味深い対戦カードが実現することになる。

以上